

連 載

経済金融用語の基礎知識 < 第 14 回 >

不安の残る EFSF と ESM

安藤 範親

EFSF と ESM の設立経緯と内容

この春から、スペインの財政改革等の進捗に対する不透明感が強まっている。ギリシャと同様に、国際的な支援が必要になるのではないかとの懸念も大きくなっており、ユーロ圏の財政悪化国への支援の仕組みであり、危機拡大防止策である金融安全網に改めて注目が集まりつつある。

現在、既存の金融安全網としては EFSF (European Financial Stability Facility: 欧州金融安定ファシリティ) がある。EFSF の設立は、10年5月9日、ギリシャに対する支援に合わせ、他の財政悪化国への問題波及の備えとして、EU が、EFSF を含む総額 7,500 億ユーロの支援の枠組みを発表したことに始まる。

その内、EFSF は、4,400 億ユーロの融資枠を有し、ユーロ圏諸国が財政危機に陥った場合には、ユーロ圏諸国の政府保証を受けて債券を発行し、調達した資金を原資に金融支援を行う仕組みである。

ただし、EFSF は 13 年 6 月までを期限とした。あくまで、当面の危機への備えとして設けられたもので、財政問題の根本的な解決に向けての議論はさらに進められた。その中で、危機対応組織の常設化の必要性が訴え

られ、EFSF の機能を継承する形で、常設となる ESM (European Stability Mechanism: 欧州安定メカニズム) の設立が 11 年 6 月 24 日に、欧州理事会で決定され、12 年 2 月 2 日に ESM を創設

する条約が署名された。現在各国では ESM 条約の批准手続きが進められている。

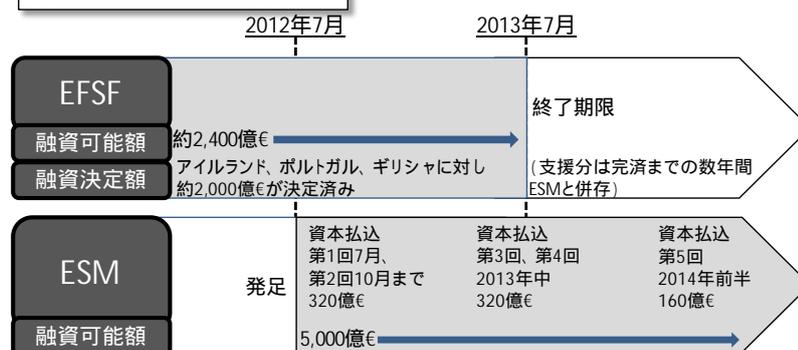
ESM の融資可能額は 5,000 億ユーロで、融資可能額を信用補完する資金として、7,000 億ユーロの応募資本を設定し、そのうち、払込資本は 800 億ユーロとしている。

さらに、12 年 3 月 30 日のユーロ圏財務相会合では、12 年 7 月から ESM を稼働させ、EFSF と併用させることが決定された。これにより、EFSF による融資決定済みの約 2,000 億ユーロやギリシャに対する二国間融資等を含めた欧州金融安全網の規模は総額約 8,000 億ユーロとなった。これに加えて、EFSF の期限となる 13 年半ばまでは、EFSF 未使用分の約 2,400 億ユーロも活用可能である (図表 1)。

残る課題

以上のように、EFSF に加えて、ESM という常設の金融安全網の整備により、支援力は拡充されることとなったが、今後スペインやイタリアなどの財政規模の大きい国々に対し、支援ニーズが波及した場合には、現在の融資枠では必ずしも十分ではないと考えられ、さらなる拡充策の検討が課題として残されている。

図表1 EFSFとESMの行程表



(資料) EFSF: Frequently Asked Questions (30 March 2012) より農中総研作成